

2018年度第1回北陸公法判例研究会開催のお知らせ

陽春の候、皆様には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。さて、下記の通り今年度第1回研究会を開催いたします。多数のご参加をお待ちいたしております。

なお、研究会終了後、報告者の先生方を囲んで懇親会を開催いたします。ご出席いただける方は、5月15日（火）までに山崎にご連絡くださるようお願いいたします。

記

日時： 2018年5月19日（土）13時30分より

会場： 石川四高記念文化交流館（金沢市広坂2-2-5）多目的利用室2



1. 金澤 誠（帝京大学）

〔研究報告〕「表現する場を提供する国家と、平等に関する一考察」（仮題）

〈参考文献〉

- ・大林啓吾「最高裁の口頭弁論を聞くーウェディングケーキ事件」受験新報 2018年3月号 136頁以下、同2018年4月号 165頁以下
- ・金澤誠「テキサス州で用いられる自動車のナンバープレートにつき、州が定めた手続きに基づいて、ある団体が希望する特別のデザインを申請したところ、同州の陸運局がそれを拒否したことが、第1修正に違反しないとされた事例」アメリカ法 2016-1号 140頁以下
- ・木下智史「憲法訴訟の実践と理論ー集会の場所の保障をめぐる事例」判例時報 2324号 3頁以下
- ・国家賠償請求事件（和歌山地裁平成28年3月25日判決 判例時報 2322号 95頁以下）
- ・群馬の森追悼碑設置期間更新不許可処分取消等請求事件（前橋地裁平成30年2月14日判決 LEX 文献番号 25549502）

2. 児玉 弘 (佐賀大学)

〔研究報告〕「大規模公共事業をめぐる行政過程と行政訴訟・民事訴訟」

(日本法社会学会 2018 年度学術大会 ミニ・シンポジウム『「諫早湾干拓紛争」の諸問題
——法学と政治学からの分析』のプレ報告)

〈参考文献〉

- ・岩橋健定「諫早湾干拓事業をめぐる混迷と民事訴訟制度 (1)・(2・完)」法学教室 404 号 (2014 年) 44 頁／405 号 (2014 年) 61 頁
- ・岩橋健定「続・諫早湾干拓事業をめぐる混迷と民事訴訟制度——2 つの最高裁平成 27 年 1 月 22 日決定とその後の展開」法学教室 417 号 (2015 年) 44 頁
- ・高木光「原発訴訟における民事法の役割——大飯三・四号機差止め判決を念頭において」自治研究 91 巻 10 号 (2015 年) 17 頁
- ・高木光「仮処分による原発の運転差止——二つの高裁決定を素材として」自治研究 93 巻 9 号 (2017 年) 3 頁